

平成29事業年度

# 決算報告書

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

## 平成29年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,030	8,101	71	注 1
施設整備費補助金	939	883	△ 56	注 2
補助金等収入	134	205	71	注 3
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	—	
自己収入	5,646	6,015	369	
授業料、入学料及び検定料収入	5,552	5,592	40	注 4
雑収入	94	423	329	注 5
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,764	2,517	753	注 6
引当金取崩	—	13	13	注 7
目的積立金取崩	92	0	△ 92	注 8
間接経費収入	259	285	26	注 9
計	16,898	18,053	1,155	
支出				
業務費	13,768	13,957	189	
教育研究経費	13,768	13,957	189	注 10
施設整備費	973	917	△ 56	注 11
補助金等	134	215	81	注 12
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,764	2,315	551	注 13
間接経費支出	259	290	31	注 14
計	16,898	17,694	796	
収入－支出	—	359	359	

### ○予算と決算の差異について

- (注 1) 平成29年度退職手当及び年俸制導入促進費の追加配分による特殊要因運営費交付金 80 百万円の増、前年度特殊要因退職手当繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による 9 百万円の減の理由により、予算額に比して決算額は 71 百万円多額となっております。
- (注 2) 平成29年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 56 百万円少額となっております。
- (注 3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる 81 百万円の増、当期末収入金分 10 百万円の減の理由により、予算額と比して決算額は 71 百万円多額となっております。
- (注 4) 授業料収入 4 百万円の減、入学料収入 25 百万円の増、検定料収入 19 百万円の増により、予算額に比して決算額は 40 百万円多額となっております。
- (注 5) 科学研究費補助金等間接経費収入、財産貸付料収入、教員免許更新講習料収入、有価証券受取利息収入等により、予算額に比して決算額は 329 百万円多額となっております。
- (注 6) 寄附金収入 65 百万円の増、受託研究収入 492 百万円の増、共同研究収入 102 百万円の増、受託・共同事業収入 23 百万円の増。一方、前年度以前の収入を財源として、受託研究収入が 3 百万円の増、共同研究収入が 67 百万円の増、受託・共同事業収入が 1 百万円の増となり、予算額に比して決算額は合計 753

百万円多額となっております。

(注 7) PCB 引当金 13 百万円の増等の理由により、予算額に比して決算額が 13 百万円多額となっております。

(注 8) 平成 29 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 92 百万円少額となっております。

(注 9) (注 6) に示した産学連携等研究収入及び寄附金収入等の増に伴い、予算額に比して決算額が 26 百万円多額となっております。

(注 10) (注 1) 及び、(注 4)、(注 5) に記した理由等により、予算額に比して決算額が 189 百万円多額となっております。

(注 11) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 56 百万円少額となっております。

(注 12) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 81 百万円多額となっております。

(注 13) (注 6) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 551 百万円多額となっております。

(注 14) (注 9) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 31 百万円多額となっております。